

展覧会への入口講座 Vol.24

けんそう ちまた 喧噪の巷へー「江戸名所図屏風」を歩く

北条市滅亡後、荒廃した江戸に入った徳川家康は都市建設を進め、慶長8年（1603）以後、全国諸大名を動員した、いわゆる天下普請をおこないました。三代将軍家光の治世下の寛永年間（1624-1644）の江戸はわたしたちがイメージするものとはまったく違う絢爛たるものでありましたが、いわゆる振袖火事で江戸の大半は烏有に帰してしまいました。

徳川家康の転封と開府をきっかけに、急速に発展した江戸の町。その繁栄をとらえた絵画のうち、「江戸名所図屏風」は明暦3年（1657）の大火以前の様子を伝える貴重な作例です。全長10メートルに迫る長大な画面には、さまざまな労働に勤しみ、あるいは歓楽街に集い、日々の暮らしを謳歌する江戸の人たちの姿が、実に豊かに、細やかに描き出されています。今回の講演では、この作品を中心に、江戸を題材とした都市図の魅力を紹介します。



「江戸名所図屏風」(左隻部分)
江戸時代(重要文化財) 出光美術館

講師 廣海 伸彦(出光美術館学芸員)

1980年、神奈川県生まれ。おもに17世紀から19世紀の日本の絵画を研究。美術館では、風俗画・浮世絵、源氏絵をはじめとする物語絵、琳派の絵画の調査や展示にたずさわっている。これまでに「勝川春草と肉筆美人画」(2016年)、「岩佐又兵衛と源氏絵」(2017年)などの展覧会を担当したほか、『岩佐又兵衛全集』(共著、藝華書院、2013年)、『岩佐又兵衛—浮世絵の開祖が描いた奇想』(共著、平凡社、2017年)などを刊行した。

開催概要

- 日時：2018年8月9日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)いずれかにて、
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341
ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/